



かわの忠正ニュース

発行所：公明党川崎市議団 発行人：かわの忠正 住所：幸区小向西町3-51 TEL 511-0687 印刷所：瞬光印刷 川崎市幸区塚越4-345-3

H23年 第3回
定例会一般質問

かわの忠正議員は7月1日、本会議で一般質問に立ち、①防災対策の強化②学校の水道水の安全確保③看護師不足対策④文化芸術振興について、取り上げました。

防災対策の強化を!

家具等の転倒防止対策の普及を急げ!

かわの忠正議員は、大震災が都市部で発生と想定した場合、家屋・ブロック塀等の倒壊対策とともに建物内の耐震強化策として家具の転倒防止対策が重要と指摘し、市の推進策を質問しました。

市有施設の転倒防止策と落下防止策について、まちづくり局長は「防災対策の強化の観点から、定期点検の実施を速やかに各施設管理者に通知し、点検の徹底を図る。中学校の通学路にあるブロック塀などの倒壊（の危険性について）の実態調査を今後検討する」と答弁しました。

また、家具転倒防止策について、総務局長は「防災啓発冊子に転倒防止策を掲載するとともに防災出前講座などを通じ広く啓発活動を行っている。今後、一層の普及啓発に取り組む」と答弁しました。

看護師確保策の推進を!

看護師免許取得者に就職支援策10月実施へ

かわの忠正議員は、大震災発生後は被災者治療が多数発生するため、看護師人材の確保を急ぐべきと質問しました。

健康福祉局長は、看護師等免許取得者が離職した後、職場復帰を支援するため「潜在看護師復帰支援研修などを行っている。今後、新たな取り組みとして10月から、生涯学習支援講座を開講する。受講後は、復職支援のため市看護協会等との連携を図る」と、答弁をしました。

（神奈川新聞 H23年7月2日付抜粋）
考えを示した。



質問に立つかわの忠正議員

学校の水道水の安全確保を!

施設長期保全計画を策定へ

かわの忠正議員は、東日本大震災発生後、3校で水が飲めなくなった事例を指摘し、老朽化した公立学校の設備について、これまでの事故・故障が発生してから修繕という対処療法型から、予防保全型の維持補修を行うよう訴えました。

教育長は「今年度各区2校をモデル校とし、設備などの劣化調査を行い、長期保全計画への基本方針をまとめる。学校カルテのデータベース化も検討する。H24年・25年度は予防保全型維持補修を検討し長期保全計画の策定に取り組む」と答弁しました。

不安な時代こそ文化芸術振興を!

漫画・アニメの人材育成支援へ

かわの忠正議員は、9月3日市内に藤子・F・不二雄ミュージアムの開館を機に、市内のアニメ・漫画を目指す人材の育成支援として、活動できる場や機会の提供、表彰体制、研修・講習などの支援策を質問しました。市民子ども局長は「研修や機会の創出など人材育成支援策について、具体的に検討する」と答弁しました。

潜在看護師の
復帰支援講座
川崎市、10月から開講

かわの忠正議員の身近な実績フォト



御幸中の高置水槽（屋上の貯水槽）給水管の取替え

（錆が蛇口から出て飲めなかったので改修工事）



歩道の整備

（景観整備を兼ねアスファルトからタイル舗装に整備。柳町1-5付近）



古市場小学校前の樹木剪定

（正門側の歩道の植栽が伸びて、児童が見えなく危険であったのを改善）



古市場コミュニティ道路の樹木剪定

（粗大ごみなどが放置され、不衛生であった樹木を剪定し景観向上と衛生面向上。古市場1-11付近）



狭隘道路の交通安全対策

（南幸町2丁目13付近の交差点は通行量が多く、接触事故が多発していたので、注意喚起の路面標示しました）



危険な車道を補修

（多摩沿線道路の「小向仲野町」交差点の横断歩道の一部に段差があり補修しました）

『市民相談室』随時開設中♪ 市政報告会もご希望に応じ随時開催！
まずは、お電話下さい。公明党川崎市議団 **かわの忠正事務所**
☎044-511-0687 FAX 044-556-0176 川崎市幸区小向西町3-51